

型式 : クイックシルバー式MXⅡHP-R503型超軽量動力機 (複座)
識別番号 : JR0557 ((財) 日本航空協会識別番号)
発生場所 : 北海道美唄市字上美唄原野4445番地3の場外離着陸場
(美唄市が管理する通称「農道離着陸場」)
発生日時 : 平成10年5月5日 14時27分ごろ

1 航空事故調査の経過

1.1 航空事故の概要

JR0557は、平成10年5月5日、操縦者A及び操縦者Bが搭乗し、北海道美唄市の場外離着陸場に着陸進入中、失速し、14時27分ごろ、離着陸地帯に墜落。

搭乗者数	2名 (操縦者A及び操縦者B)
搭乗者の死傷	2名共重傷
航空機の損壊	大破、火災発生なし。

1.2 航空事故調査の概要

主管調査官が、平成10年5月6日～8日、現場調査を実施。
原因関係者から意見聴取を行った。

2 認定した事実

2.1 乗組員に関する情報

操縦者A	男性	47歳	
(財) 日本航空協会技量認定			No.550 (昭和59年11月12日)
型式の限定			舵面操縦型
総飛行時間			約670時間
同型式機による飛行時間			約300時間

操縦者B	男性	44歳	
(財) 日本航空協会技量認定			No.9225 (平成8年9月2日)
型式の限定			舵面操縦型
総飛行時間			約1時間
同型式機による飛行時間			約1時間

(上記時間は、操縦者の口述による。)

2.2 航空機に関する情報

2.2.1 航空機

型 式 クイックシルバー式MXⅡHP-R503型
総飛行時間 約300時間
事故当時の重量 約290kg（仕様書最大重量 317.5kg）
（上記時間は、操縦者の口述による。）

2.2.2 エンジン

型 式 ロータックス式503型

2.3 気象に関する情報

2.3.1 事故当時の気象は、操縦者によれば、天気晴れ、視程良好。

2.3.2 場外離着陸場の風向風速計等の記録値は、次のとおり。

時 刻	風 向	風 速	気 温
13:00	南西	4.2 m/s	20.2℃
14:00	南南西	4.1 "	20.8 "
15:00	南西	3.4 "	21.1 "

3 事実を認定した理由

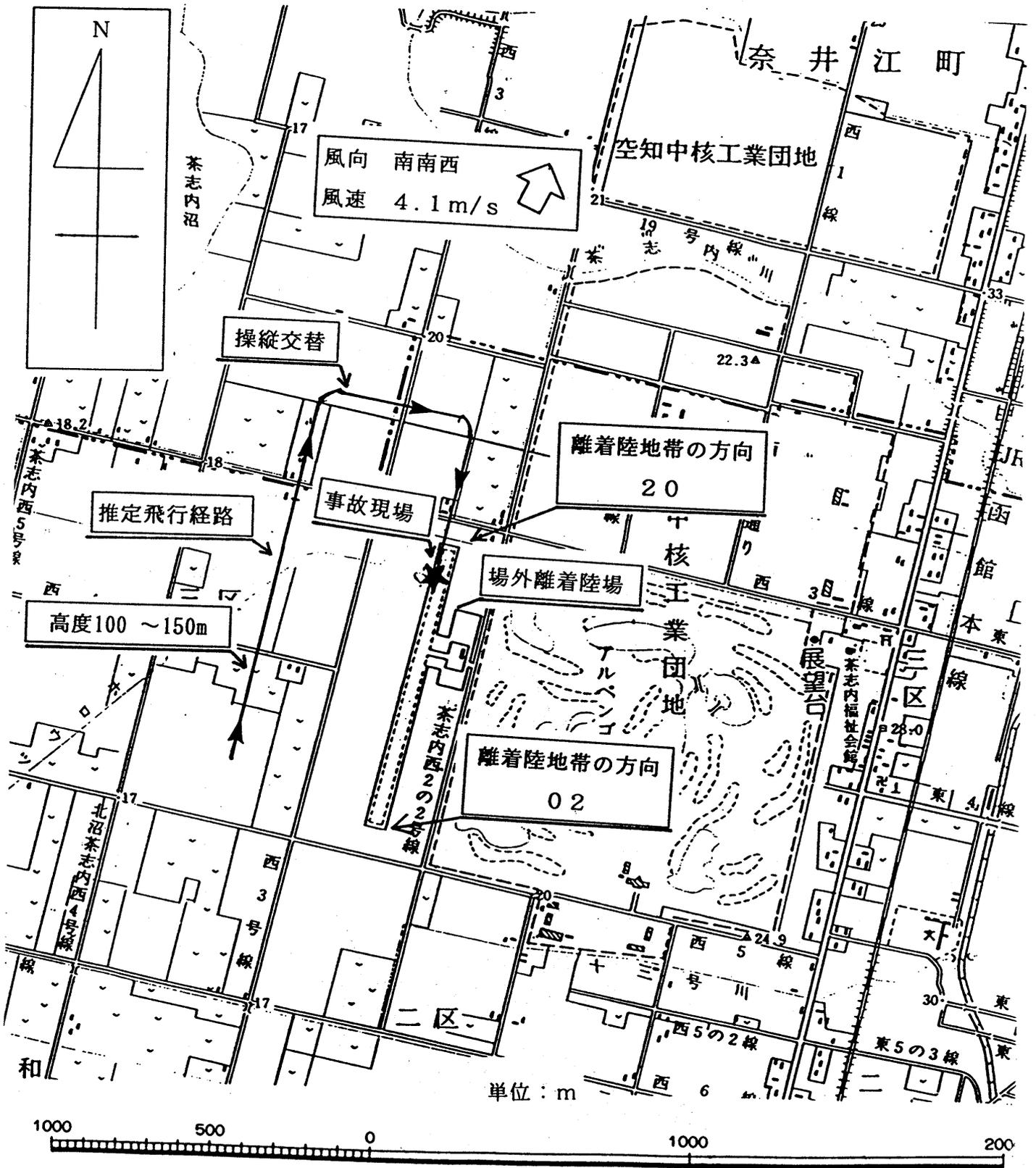
操縦者A及び操縦者B並びに目撃者の口述によれば、同機は、操縦を交代しながら約7分間、場周経路に沿った飛行を行った後、着陸のためベース・レグで操縦者Bから操縦者Aに交代。離着陸地帯の20側から着陸の際、高度約10m付近で速度が低下したため、パワー操作を行ったが、その操作が遅れたことにより失速し、機首部から離着陸地帯の西側芝地に墜落。

（付図1及び写真参照）

4 原因

本事故は、同機が着陸進入中、速度が低下した際、回復操作が遅れたため失速し、墜落したことによるものと推定。

付図1 推定飛行経路図



付図2 クイックシルバー式
MXⅡHP-R503型三面図

単位：m

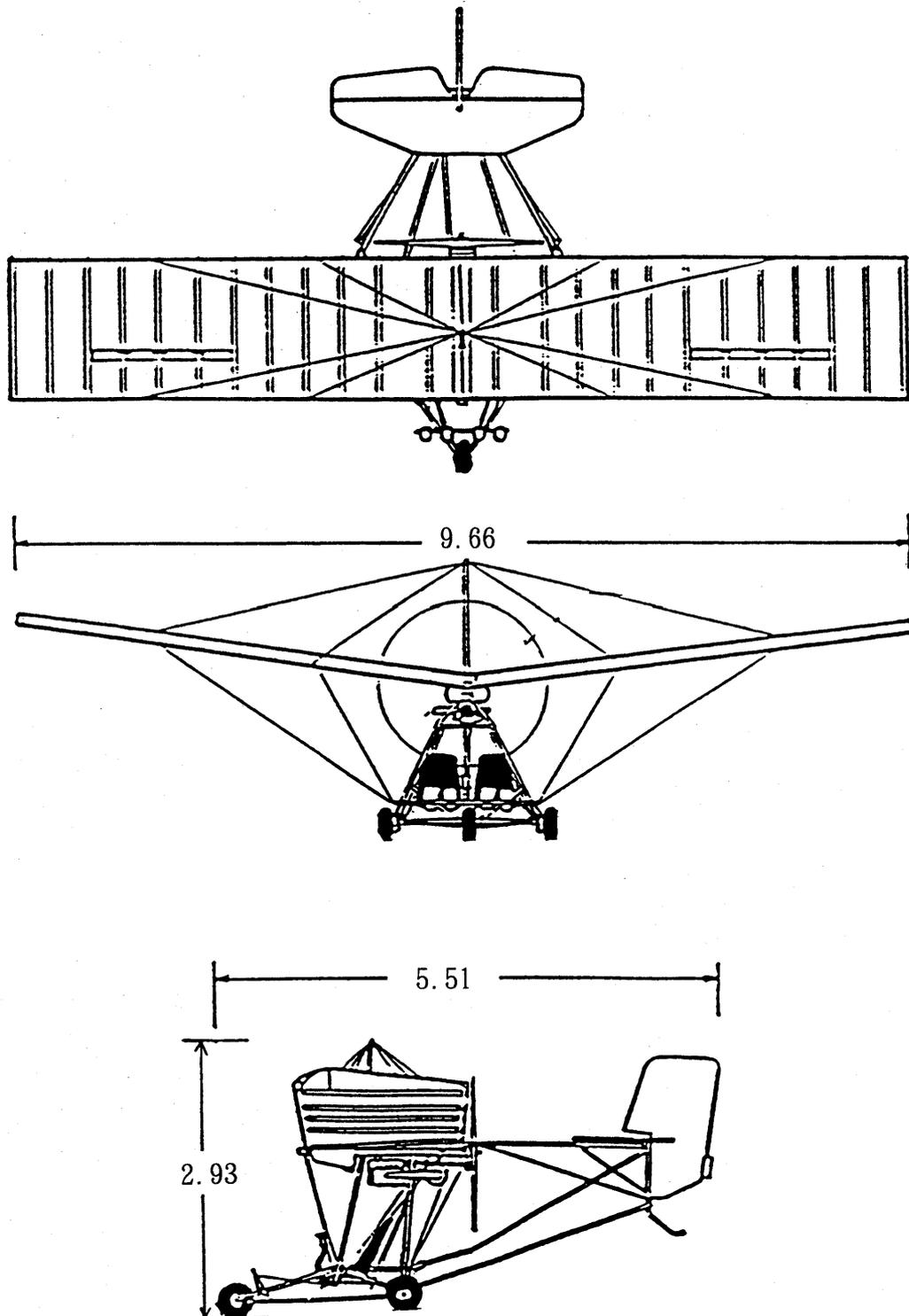
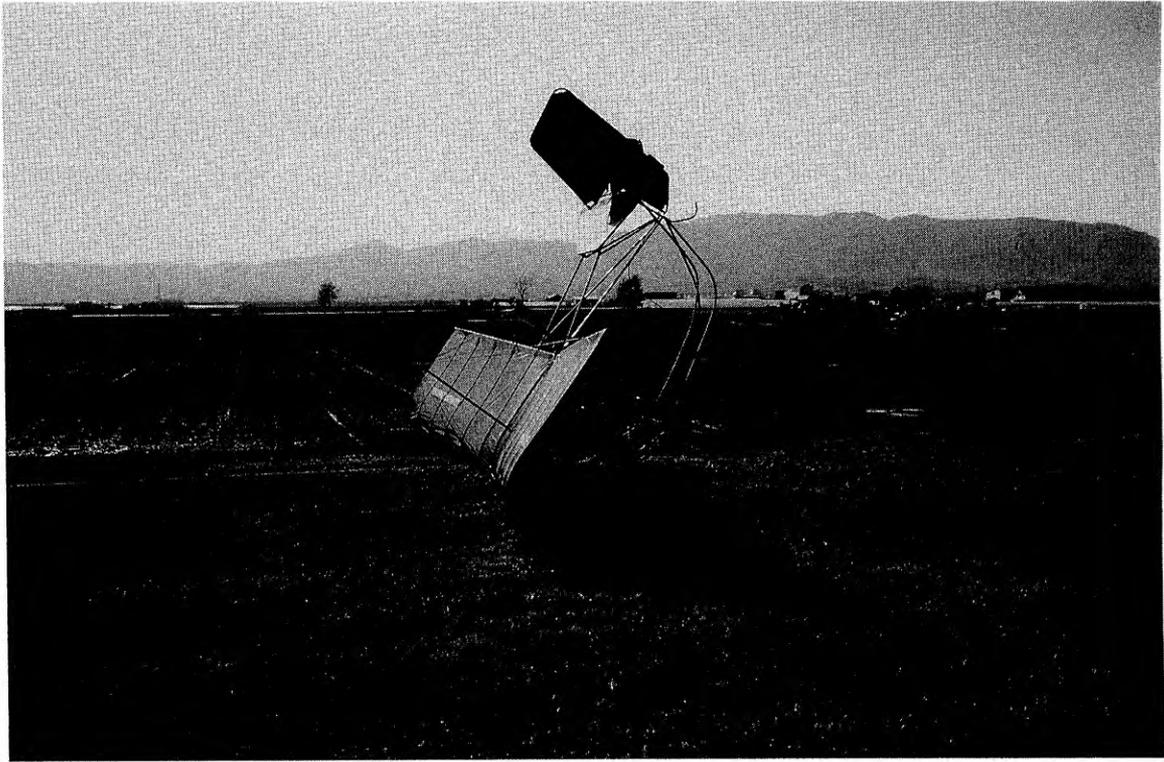


写真 事故機



余白